

平成 23 年度 神戸大学 実験・実習技術研究会 参加報告

機械系 一柳 雅則
自然科学系技術班 鎌田 浩子
化学・材料系技術班 高垣 努

主 催：国立大学法人神戸大学
研修期間：平成 24 年 3 月 14 日（水）～3 月 15 日（木）
研修会場：神戸大学 六甲台キャンパス

1. はじめに

神戸大学で開催された実験・実習技術研究会の参加について報告する。実験・実習技術研究会は隔年で開催されており、全ての技術分野を対象にした総合技術研究会が開催されない年度に開催されている。

本研究会の目的は、全国の国公立大学、高等専門学校、大学共同利用機関に所属する技術職員の日常業務である「ものづくり」「実験・実習」「地域貢献」「安全衛生」などに関する成果を中心に、業務の創意工夫、成功例や失敗例なども含まれる広範囲な事柄について発表と討論を行うことで、技術職員の活発な交流と技術力の向上を図ることとしている。

2. 報告事項

神戸大学実験・実習技術研究会では二日間にわたって 88 件の口頭発表と 94 件のポスター発表があり、活発な意見交換や技術交流がなされていた。聴講参加を加えた参加者総数は 404 名であった。前回の琉球大学で開催された技術研究会も参加者総数が 571 名であり、多数の参加者を集める技術研究会が継続して開催されていることから、全国の技術職員の技術研究会への関心が高くなっていることを感じた。

神戸大学研究会実行委員会からのご配慮で、開会式において「愛媛大学総合技術研究会」の開催案内のプレゼンテーションをやらせていただいた。また、総合受付横に開催案内ポスターの掲示スペースを設けていただき、総合技術研究会開催を広めることができた。

3. おわりに

全国規模の技術研究会に参加したことで、他機関の技術職員との人的交流が豊かになり、情報交換によって専門技術の知見を得ることができた。このことが業務内容の質的向上に反映できるように努めたい。

今回の研究会に工学部等技術部から例年以上に多人数が参加することができ、平成 24 年度に開催された「愛媛大学総合技術研究会」の運営計画や会場設営など参考になる情報が多く得られ、有意義な研修であった。

謝辞：今回の研修参加にあたって格別のご配慮をいただいた村上技術部長、田鍋事務課長ほか関係各位に御礼申し上げます。